

中医協「第207回 総会」 基礎係数の医療機関群、3 類型で合意

2011/11/18

11月18日の中医協・総会（会長：森田朗・東京大学大学院法学政治学研究科教授）では、DPC評価分科会による中間報告を大枠で了承した。



診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会の小山信彌分科会長（東邦大学医療センター大森病院心臓血管外科部長）は総会において、調整係数見直しに関する今後の対応方針案を報告。基礎係数の医療機関群を、①大学病院本院、②大学病院本院以外の高診療密度病院（仮称）、③それ以外——の3 類型とすることを提案するとともに、②の要件案を示した（下図）。これまで要件項目として検討されていた病床当たりの医師数を定める「医師密度」は、医師獲得競争につながる懸念が出されたため、明示的な要件項目からは外し、一部の具体的指標に医師数を反映させる補正を加えることで対応する。

【大学病院本院以外の高診療密度病院群（仮称）の要件案】

要件項目	具体的指標（以下すべてを満たす）
診療密度	1日当たり包括範囲出来高平均点数（患者数補正）
医師研修	届出病床当たりの初期臨床研修医密度
高度医療技術	手術1件当たりの外保連手術指数（医師数補正）
	DPC算定病床当たりの外保連手術指数（医師数補正）
	手術実施件数
重傷者診療	複雑性指数（医師数補正）

※中医協の資料を基に作成

委員からは、医師研修の評価対象を「初期臨床研修」とすることに対し、「初期臨床研修よりも後期臨床研修に力を入れている国立高度専門医療研究センターは門前払いなのか」との指摘があったため、医療機関によっては要件を適用しないなど何らかの対策を考慮するとした。3 類型とすること及び要件項目についての異論はなかった。

機能評価係数Ⅱの見直しに関する議論では、「地域医療係数」に地域医療への貢献を定量的に評価するための指標（患者シェア等）を導入するなどの案が提示され、委員からの反対意見は出なかった。上述した医療機関群への対応としては、「データ提出係数」と「効率性係数」は3 群共通とするが、それ以外の「複雑性係数」、「カバー率係数」、「地域医療係数」、「救急医療係数」は群ごとに求められる機能が異なるため、それぞれで設定することとする。

そのほか、2012年度診療報酬改定に向け、DPCに関する報酬設定の作業に用いる「退院患者調査データ」の使用対象範囲を、2010年10月から2011年9月分とすることを了承した。

■医療経済実態調査の分析結果を報告

会合では、複数の団体から医療経済実態調査の分析に関する資料が提出された。健康保険組合連合会は、医療機関及び薬局の経営状況について、全体的に改善傾向があるとした。一方、日本医師会は、2010年度診療報酬改定の成果が一定程度見られるとしたものの、特定機能病院が依然として赤字であることなどを指摘した。

また、診療側委員は連名で見解を表明。今回初めて提出された「通年」のデータにより、これまで用いてきた「6月単月」のデータの信頼性が否定されたとしたほか、黒字傾向があるとはいえ、病院勤務医の処遇改善等の観点からすると経営状況は依然として不安定である、との考えを示した。

■DPC高額薬剤に1成分追加

11月16日の総会から持ち越されていた「イラリス皮下注用150mg」〔一般名：カナキヌマブ（遺伝子組換え）〕については、この日の会合で薬価収載（11月25日予定）及びDPC高額薬剤への追加が承認された。予測使用患者がピーク時でも30人と少なく、より詳しいデータの提出が委員より求められていた。なお、高額薬剤を使用した患者のうち、指定された診断群分類に該当する場合はDPC対象外となり、高額薬剤だけでなくほかの治療費も出来高算定となる。

次の総会は、11月25日に開催予定。

DPCの高額薬剤追加が了承された医薬品（適用は官報告示日からとなります）

〔DPC対象外となる診断群分類は割愛しております。
 なお、詳細につきましては、官報告示後、弊社ホームページ内でご案内いたします。〕

銘柄名	成分名	会社名	効能・効果
イラリス皮下注用150mg	カナキヌマブ（遺伝子組換え）	ノバルティスファーマ	以下のクリオピリン関連周期性症候群 ・家族性寒冷自己炎症症候群 ・マックル・ウェルズ症候群 ・新生児期発症多臓器系炎症性疾患

※中医協の資料を基に作成

薬価収載一覧表（2011年11月25日 収載予定）

銘柄名	規格単位	会社名	成分名	算定薬価	薬効分類		新薬収載希望者による 市場規模予測	最初に承認 された国
					注399	他に分類されない代謝性医薬品（家族性寒冷自己炎症症候群、マックル・ウェルズ症候群、新生児期発症多臓器系炎症性疾患用薬）		
イラリス皮下注用150mg	150mg1瓶	ノバルティスファーマ	カナキヌマブ（遺伝子組換え）	1,435,880円	注399	他に分類されない代謝性医薬品（家族性寒冷自己炎症症候群、マックル・ウェルズ症候群、新生児期発症多臓器系炎症性疾患用薬）	ピーク時（3年度） ：30人、 4.8億円	米国

※中医協の資料を基に作成